

兵庫県南部大地震 記念の日 追悼礼拝次第

日時 2021年1月17日(日)午後6時から
会場 オンライン・ライブ映像配信
主催 日本基督教団 兵庫教区
配信協力 小栗献(神戸聖愛教会)



礼拝ライブ配
信用QRコード

司式 森なお (加古川東教会)

奏楽 堀香織 (須磨教会)

| | | |
|----|---------------------------------|-----|
| 前奏 | “最愛のイエスよ 我らここに集いて” | 奏楽者 |
| 招き | 詩編 40編12節(p.2) | 司式者 |
| 告白 | 被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白(p.3~4) | 一同 |
| 黙禱 | | 一同 |
| うた | 苦しみ悩みの (『讃美歌21』 526;1~5節、p.5~6) | 一同 |
| 祈り | | 司式者 |
| 聖書 | ルカによる福音書 21章8b~11節(p.7) | 司式者 |
| うた | ひさしくまちにし (『讃美歌1編』 94、p.9~10) | 一同 |
| 説教 | 『今の不安の中で、阪神・淡路大震災からの26年を想う』 | |

市川哲 (芦屋岩園教会)

| | | |
|----|----------------------------------|-----|
| 祈り | 1月17日 人と自然の共存を祈る(p.11) | 一同 |
| うた | 主イエスこそわが望み (『讃美歌21』 531、p.12~13) | 一同 |
| 終禱 | | 説教者 |
| 後奏 | “われ苦しみの極みにあるとき” | 奏楽者 |
| 報告 | | |

招き

しゅ
主よ、

あなたも^{あわ}憐れみの^{こころ}心を閉ざす^とことなく

いつく
慈しみとまこと^{まも}によって

いつもわたしをお守り^{まも}ください。

(詩編 40編12節、『新共同訳聖書』)

告白 被災教区の震災5年目の宣教にあたっての告白

わたしたちは、地震と被災に関わる経験を通して示された、試練と恵みの神の働きを信じる。

わたしたちは、被災が一樣でなく極めて多様で、それぞれに固有の生活体験であることを知る。しかし、その個々の生活に働かれる神の臨在を認識した。そして固定化した福音理解、感性と想像力に欠けた信仰生活が厳しく問われたと信じる。

わたしたちは、非常時の中で教会の地域社会への関わりと参与、その日常性のあり方を問われた。被災の現実から教えられたのは、隣人への関心、関係の豊かさを生きることであると信じる。

わたしたちは、^{おおじしん}大地震という^{みそう}未曾有の^{できごと}出来事を経験し
た。^しおびたしい^{まえ}死を^{あつどう}前に^{かな}圧倒されながら、^{げんじつ}悲しむ^むより^あほか
ない^{たいせつ}現実と^し向かい^{どうじ}合うことの^{だいじ}大切さを^し知った。^{どうじ}同時に、^{れきし}イエ
ス・^{けいじ}キリストにおいて^{かみ}歴史に^{ひさい}啓示された^{しん}神は、^{なか}被災の^{りんざい}ただ
中にも^{しん}臨在されていることを^{しん}信じる。

わたしたちは、^{げんじつ}現実の^{くなん}苦難の^{なか}中にある^{いのち}生命の^{いどな}営みと、そ
の^{であ}出会いの^{なか}中^{かみ}に^おこそ^{しん}神は^{しんこう}居られることを^{しん}信じる。その^{しんこう}信仰
によって^{みち}未知の^ふものを^わ踏み^{ことば}分け^{つむ}つつ^{しん}言葉を^{しん}紡ぎ^{しんこう}だして^{しん}いく
ことが^{ふくいんせんきょう}福音^{しん}宣教と^{しん}信じる。

わたしたちが^{ひさい}被災の^{げんじつ}現実の^{なか}中で、^{ちいき}『地域の^{さいせい}再生なくして、
^{きょうかい}教会の^{ふっこう}復興は^{あゆ}ありえない』として^{かみ}歩んできた^{まえ}ことが、^{しん}神の前
に^た立つ^{しんこう}わたしたちの^{おうどう}信仰の^{こくはく}応答であると^{しん}告白する。

アーメン

うた 苦しみ悩みの (『讚美歌21』 526;1~5節)

Wenn wir in höchsten Noten sein
詞 : Paul Eber, 1511-1569

WENN WIR IN HOCHSTEN NOTEN SEIN
曲 : Johann B. Serranus, 1540-1600

1 く る し み な や - み の き わ み に あ る と き、
2 ま こ と の な み か - み に す く い を も と め て ▶
3 お か し た あ や - ま ち の こ り ろ か ら く い て、
4 か み は み 子 イ エ - ス の と り な し に こ れ た え、▶
5 こ の 日 も み ま - え に あ つ ま る わ れ ら は

の が れ る み ち な り く、 た す け も え ら れ ず、
▶ さ げ る い の か は、 す れ け な ぐ れ さ め、
▶ す わ れ み の か は、 す れ け な ぐ れ さ め、
す く い の め ぐ み を あ た え て お だ さ ば、
す べ て の な げ き を 主 の 手 に ゆ だ ね る。 ◁

(♩=60)

ア - メ ン。

この楽譜は、出版元である日本基督教団出版局の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団出版局 楽譜版下使用許諾 No. 版021-004

1 苦し^{くる}み^の悩^{なや}みの き^のわ^みに^ある^とき、
逃^{のが}れる^道なく、助^{たす}け^も得^えられ^ず、

2 ま^のこ^のみ^かみ^に 救^{すく}い^を求^もめ^て
さ^のさ^げる^祈り^は わ^れら^の慰^{なぐさ}め。

3 犯^{おか}した^あや^まち 心^{こころ}から^く悔^いて、
あ^われ^みの^かみ^の神^の み^かお^あお^顔を^あげ^ば、

4 神^{かみ}は^こみ^子イ^エス^の と^りな^しに^こた^え、
救^{すく}い^の恵^{めぐ}みを 与^{あた}えて^くだ^さる。

5 この^ひも^み前^{まえ}に 集^{あつ}ま^るわ^れら^は
す^べて^の嘆^{なげ}きを 主^{しゅ}の^て手^にゆ^だね^る。

聖書 ルカによる福音書 21章8b～11節

8b ^{まど}惑わされないように^き気をつけなさい。わたしの^な名を^な名乗

^{もの}る者が^{おおぜい}大勢^{あらわ}現れ、『わたしが^{それだ}』とか、『^{とき}時が^{ちか}近づいた』

とか^い言うが、^いついて^い行ってはならない。^{せんそう}戦争とか^{ぼうどう}暴動のこと

を^き聞いても、^おおびえてはならない。こう^いいうことが^おまず^お起こるに

^き決まっているが、^よ世の^お終わりは^こすぐには^こ来ないからである。」

10 ^{さら}そして^い更に、^{たみ}言われた。「^{たみ}民は^{くに}民に、^{くに}国は^{てきたい}国に^{てきたい}敵対して

^た立ち^あ上がる。11 ^{おお}そして、^{おほ}大きな^{じしん}地震があり、^{ほうぼう}方々に^{ききん}飢饉や

^{えきびょう}疫病が^お起こり、^{おそ}恐ろしい^{げんしょう}現象や^{いちじる}著しい^{しるし}徴が^{てん}天に^{あらわ}現れる。

(『新共同訳聖書』)

うた ひさしくまちにし (『讚美歌1編』94)

Veni, veni, Emmanuel
12th Century Latin Hymn

VENI EMMANUEL
13th Century Plain Chant, Mode 1,
from French Missa!

ひ さしくま ち—にし 主よとくき た—りて み

ORGAN

♩ = 120

たみのなわ —めをと きはなち た—まえ 主

よ 主よ み た—みをす くわせた ま—え や ア—メン

この楽譜は、出版元である日本基督教団出版局の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団出版局 楽譜版下使用許諾 No. 版021-004

この歌詞は、日本音楽著作権協会(JASRAC)の許可のもと、複写し掲載しています。

日本音楽著作権協会(出)許諾第 2100231-101 号

1

久ひさしく待ちにし 主よ、とくきた来りて、
み民のなわめを 解とき放はなちたまえ。
主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

2

あしたの星なる 主よ、とく来りて、
お暗くらきこの世に み光をたまえ。
主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

3

ダビデのすえ裔なる 主よ、とく来りて、
平和の花咲く 国をたてたまえ。
主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

4

ちからの君なる 主よ、とく来りて、
輝かがやくみくらに とわにつ即き給え。
主よ主よ、み民を 救わせたまえや。

祈り 1月17日 人と自然の共存を祈る

かみ わたし しぜん なか い い
神さま、私たちが自然の中で生き、生かされていることを
かんしゃ
感謝します。

じぶん しぜん なか いちぶ
でも、自分たちも大きな自然の中の一部であって、その
しぜん なか い わす
自然の中で生かされているということをすぐに忘れてしまい
ます。いつも人間だけが、人間の知恵や力によって生きて
いて、その上、自分たちが自然を支配しているかのように
かんちが
勘違いしてしまいます。

おおじしん じぶん かんが いじょう
あの大地震をとおして、自分たちが考えている以上に
さまさま ささ はげ し え いま わたし
様々な支えや励ましがあつたことを知り得た今、私たちは
しぜん たい ささ なぐさ とも い なかま
自然に対しても、支えられ、慰められ、共に生きている仲間
おほ おも
であることを覚えていきたいと思ひます。

けつ にんげん しぜん しはい
決して人間が自然を支配しているものではないというこ
おほ
とを覚えるために。

アーメン

うた 主イエスこそわが望み (『讚美歌21』 531)

Be Thou my vision
詞：アイルランドの賛美歌、8世紀

SLANE
曲：アイルランド民謡

1 主 イエ ス - こ そ わ が の ぞ み、
2 主 イエ ス - こ そ わ が つ る ぎ、
3 こ こ ろ - み の 世 に あ り て

わ が あ こ が れ、 わ が う た。
わ が よ ろ こ び、 わ が た て。
つ み の ち か ら、 死 の や み

ひ る - も - よ る も み ち び く -
た だ - 主 - こ そ が わ が か み -、
と り - か - こ み て せ ま れ ど -

わ が ひ か - り、 わ - が ち か ら。
 > わ が た か - ら、 わ - が す べ て。
 な お 主 こ - そ、 わ - が の ぞ み。

(♩=88)

1 ^{しゅ}主イエスこそ ^{のぞ}わが望み、
 わがあこがれ、わが歌。
^{ひる}昼も^{よる}夜も ^{みち}びく
 わが^{ひかり}光、わが^{ちから}力。

2 ^{しゅ}主イエスこそ ^{わが}つるぎ、
 わが^{よろこ}喜び、わが^{たて}盾。
 ただ^{しゅ}主こそが ^{わが}かみ神、
 わが^{たから}宝、わがすべて。

3 ^よころみの世にありて
^{つみ}罪の^{ちから}力、^し死のやみ
 とり^{かこ}囲みて ^{せま}迫れど
 なお^{しゅ}主こそ、^{のぞ}わが望み。

ア - メン。

この楽譜は、出版元である日本基督教団出版局の許可のもと、複写し掲載しています。

日本基督教団出版局 楽譜版下使用許諾 No. 版021-004

